

# 『行政法判例 50！』

---

(樋笠知恵・30代・大学講師)

判例の解説書といえば『判例百選』が有名ですが、本書は扱う判例数が50と少ないため、初学者が最初に手に取る判例解説書としては、敷居が低く、読みやすいと思います。

簡単な事案の説明から入り、読み解きポイントで論点を把握できるため、何が争われている事案なのかを理解してから、判決文を読むことができます。判決文については、重要部分が青い文字で記載され、下線が引かれ、視覚的に捉えやすいよう工夫がされています。また、解説部分では基本的な法的知識を確認でき、関連判例の紹介もあるため、実際には50以上の判例に触れることができます。

行政法は、他の法律とは違い判例に多数の法律が登場するため、難しく感じることも多いと思いますが、本書においては、無理なく行政法の判例を読むことができます。学部の定期試験前などに、頭の中を整理するのにも役立つと思います。

はしがきにも書かれているとおり、本書を理解した上で、『判例百選』などの教材にステップアップするのが良いのではないのでしょうか。

『法学教室』2018年3月号(No.450)掲載「Reader's Voice」より